

科目名	国語	英語科目名	Japanese
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	機械工学科 3年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位
担当教員	茂木謙之介	居室(もしくは所属)	テクノ棟4階(柴田美由紀)
電話	内線 172(柴田美由紀)	E-mail	miyuki-s@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
	1. 日本語に関する知識を持ち、それをを用いて適切に表現できる。	①	
	2. 文章の読み・書きを通して読解力と分析力を身につけることができる。	②	
3. プレゼンテーションやディベートの形で自らの考えを論理的に表現することができる。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
前期に関しては中間試験、期末試験、提出物、小テストによって評価する。後期に関してはプレゼンテーション・ディベート等の発表、提出資料、質疑応答等によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験と前期末試験の平均点を35%程度、発表(口頭および提出資料)を35%程度、小テストと提出物を30%程度で評価する。今年度において漢検準2級以上に合格した場合は、級に応じて加点する。読書体験記コンクールなど日本語表現に関するコンクールに入賞した場合も、内容に応じて加点する。			
授業内容		授業内容	
【前期】		【後期】	
1. 授業ガイダンス/自己紹介文		16. プレゼンテーション① 方法	
2. 日本語について① 言葉の歴史①		17. プレゼンテーション② 準備①調査	
3. 日本語について② 言葉の歴史②		18. プレゼンテーション③ 準備②論点整理	
4. 伝え合う力のトレーニング① 朗読		19. プレゼンテーション④ 発表①	
5. 日本語について③ 文章の変遷		20. プレゼンテーション⑤ 発表②	
6. 伝え合う力のトレーニング② スピーチ		21. プレゼンテーション⑥ 発表③	
7. 前期中間試験		22. プレゼンテーション⑦総括/確認テスト	
8. 試験答案の返却と解説		23. ディベート① 方法	
9. 日本語について④ 語彙		24. ディベート② 準備①調査	
10. 日本語について⑤ 文章の構造 /確認テスト		25. ディベート③ 準備②論点整理	
11. 伝え合う力のトレーニング③ 意見文		26. ディベート④ 準備③各班リハーサル	
12. 日本語について⑥ 敬語		27. ディベート⑤ 発表①	
13. 伝え合う力のトレーニング④ 通信文		28. ディベート⑥ 発表②	
14. 前期末試験		29. ディベート⑦ 発表③/総括	
15. 試験答案の返却と解説		30. 提出物の返却と評価	
キーワード	日本語表現、国語常識、伝え合う力、プレゼンテーション、ディベート		
教科書	国語表現(京都書房)、「パスポート国語必携」(桐原書店) 「Sメソッドによる伝え合う力のトレーニング」(オリジナル教材)		
参考書			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	国語		
現学年の関連科目	なし		
次年度以降の関連科目	文学		
連絡事項			
日本語の運用能力を鍛えることを目的とした授業です。講義のみならず、受講者による読む、書く、話す、聞く、調べる活動を多く取り入れ、それを評価しますので、積極的な参加を求めます。			
シラバス作成年月日	平成28年3月11日作成		